2027年3月期　第2四半期
決算説明会

SERENDIP HOLDINGS

セレンディップ・ホールディングス株式会社

証券コード　7318

2026年11月17日

Index

1. 決算概況
2. トピックス
3. Appendix

【2027年3月期　第2四半期】 連結業績サマリ

- サーテックカリヤの業績を期首から取り込み、売上高・営業利益・経常利益において過去最高を更新
- 一過性のM&A費用（174百万円）を計上するも、営業利益は約1.5倍の増益
- 当期純利益は、前年同期に負ののれん発生益（3,069百万円）を計上した反動に加え、税金費用の増加により減益

売上高 過去最高	営業利益 過去最高	経常利益 過去最高
31,862百万円	**1,027百万円**	**1,104百万円**
前年同期比 +65.2pt 前年同期 19,290百万円	前年同期比 +46.8pt 前年同期 699百万円	前年同期比 +88.5pt 前年同期 585百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	**調整後EBITDA※ 過去最高**	**M&A実行件数（累計）**
206百万円	**2,450百万円**	**1件**
前年同期比 ▲93.7pt 前年同期 3,064百万円	前年同期比 +39.0pt 前年同期 1,763百万円	前年実績 1件

※調整後EBITDA：営業利益＋のれん償却費＋減価償却費＋一過性の新規M&A関連費用

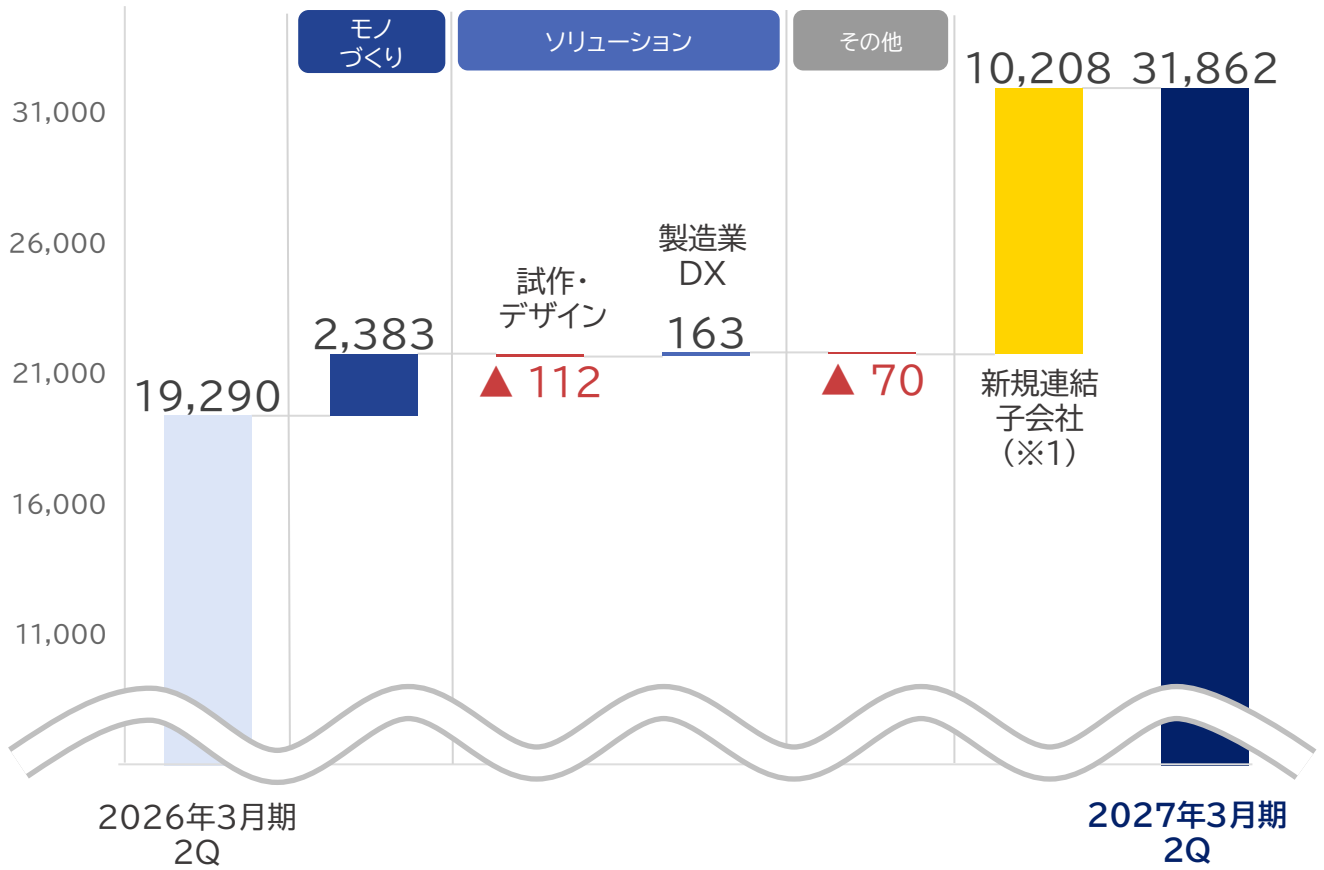
Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

セグメント売上高の状況および連結売上高増減分析

- モノづくり事業は、期首から取り込んだサーテックカリヤと三井屋工業・エクセルの増収により、前年同期比約1.8倍
- 製造業DXは、自動化に対する投資需要拡大を背景に増収

（単位：百万円）	2026年3月期 2Q	2027年3月期 2Q	前年同期比
モノづくり事業	16,527	29,109	+76.1%
ユニクレア	5,590	5,575	-0.3%
三井屋工業	5,259	6,424	+22.2%
エクセル・グループ	5,731	6,959	+21.4%
サーテックカリヤ	―	10,207	―
ソリューション事業	2,701	2,721	+0.7%
試作・デザイン	1,325	1,207	-8.9%
アペックス（アペックス×トライシス）	1,118	887	-20.7%
レディーバード	207	320	+54.6%
製造業DX	1,404	1,531	+9.0%
天竜精機	446	584	+30.9%
アクストリア	825	787	-4.6%
セレンディップ・ロボクロス	133	160	+20.3%
その他	525	570	+8.6%
セレンディップ・ホールディングス	410	544	+32.7%
セレンディップ・フィナンシャルサービス	114	26	-77.2%

増減分析



※個別業績については内部売上高又は振替高を含んでいるため、各個別業績の合計とセグメント別の数値は一致いたしません。
※2027年3月期 第1四半期よりセグメント区分を変更しております。前年同期実績については新セグメント区分に組み替えて表示しております。
※トライシスは2025年10月にアペックスと合併しておりますが、前年同期実績についても両社を統合した数値で表示しております。
※当社コンサルティング事業は2025年8月よりセレンディップ・ロボクロス、2026年4月よりアクストリアへ移管しており、2026年3月期第2四半期は移管後の体制に合わせて表示しております。

※1 新規連結子会社は、サーテックカリヤを指します。

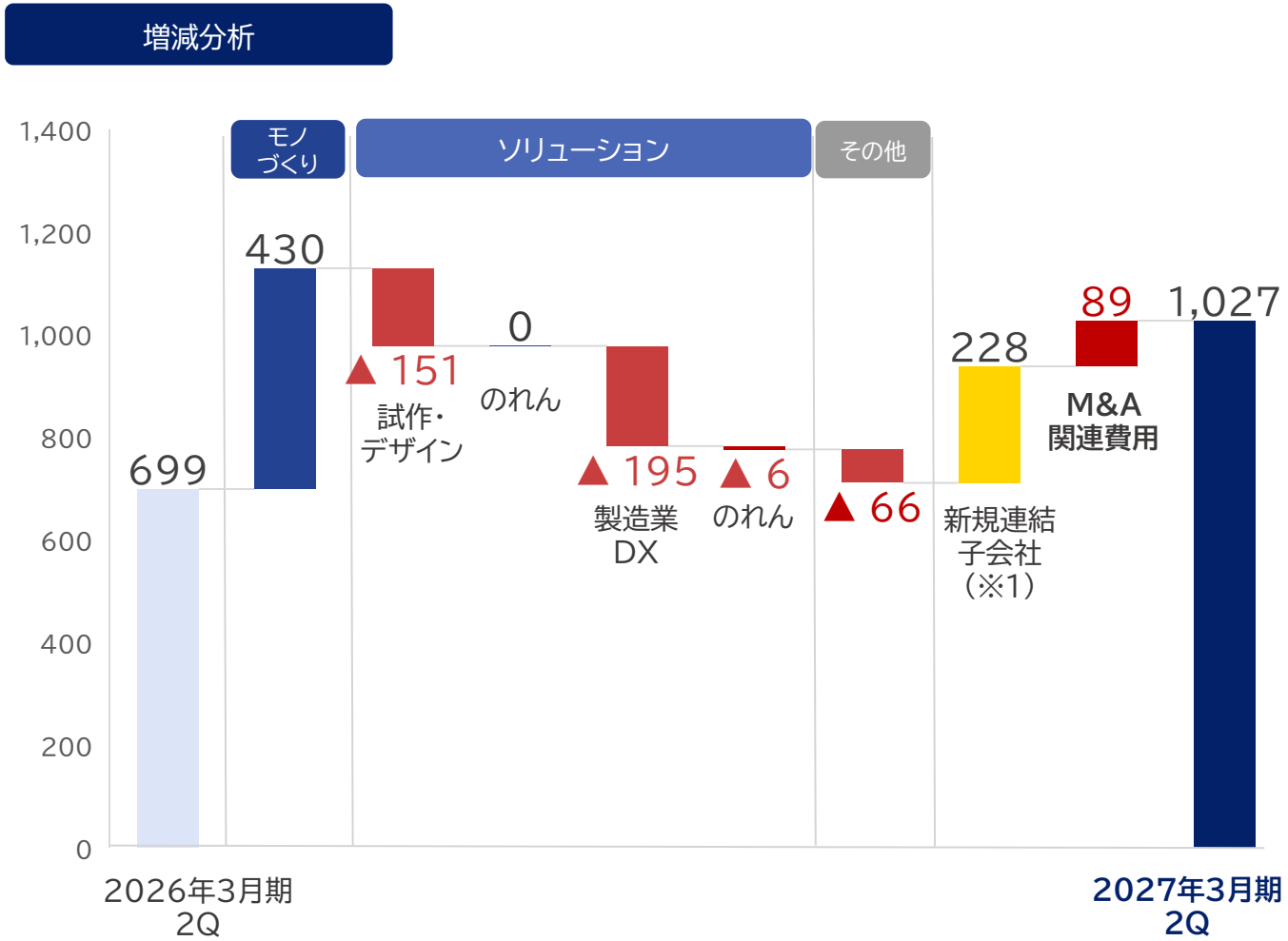
Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

セグメント利益の状況および連結営業利益増減分析

- モノづくり事業において、ユニクレアは、生産性向上、人員配置及び販売価格の適正化により増益
- 三井屋工業は、スマートファクトリー（東北工場）の稼働が向上し大幅な増益

（単位：百万円）	2026年3月期 2Q	2027年3月期 2Q	前年同期比
モノづくり事業	611	1,376	+125.0%
ユニクレア	67	194	+189.6%
三井屋工業	297	707	+138.0%
エクセル・グループ	506	438	-13.4%
サーテックカリヤ	-262	227	–
日建産業	–	-174	–
ソリューション事業	24	-328	–
試作・デザイン	134	-27	–
アペックス（アペックス×トライシス）	140	-33	–
レディーバード	-5	5	–
製造業DX	-89	-292	–
天竜精機	-103	-129	–
アクストリア	60	-104	–
セレンディップ・ロボクロス	-46	-58	–
その他	64	5	-92.2%
セレンディップ・ホールディングス	57	21	-63.2%
セレンディップ・フィナンシャルサービス	7	9	+28.6%

M&A費用



※個別業績については内部売上高又は振替高を含んでいるため、各個別業績の合計とセグメント別の数値は一致いたしません。
※2027年3月期 第1四半期よりセグメント区分を変更しております。前年同期実績については新セグメント区分に組み替えて表示しております。
※トライシスは2025年10月にアペックスと合併しておりますが、2026年3月期 第1四半期の業績もそれぞれ統合した数字で表示しております。
※当社コンサルティング事業は2025年8月よりセレンディップ・ロボクロス、2026年4月よりアクストリアへ移管しており、2026年3月期第2四半期は移管後の体制に合わせて表示しております。

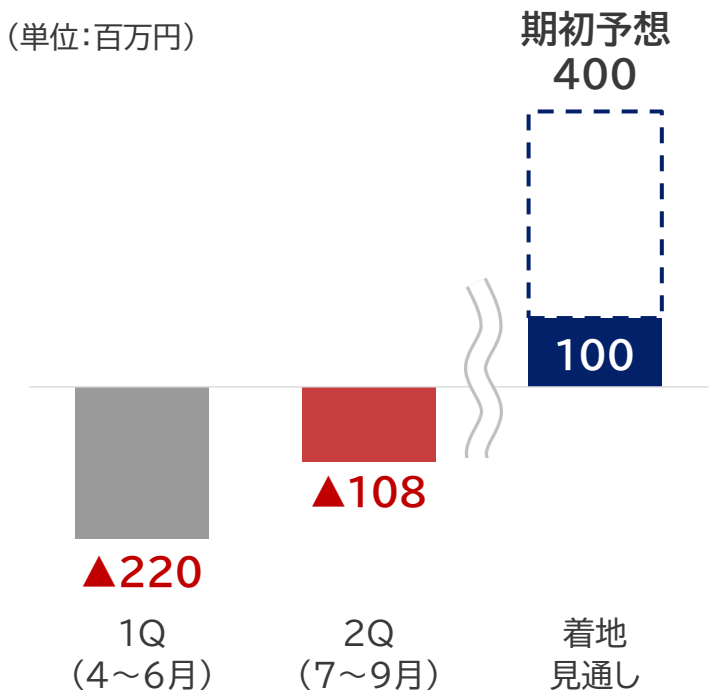
※1 新規連結子会社は、サーテックカリヤを指します。

Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

【ソリューション事業】 上期は赤字も、受注回復及び収益性改善で、通期黒字化を見込む

- アペックスは上期赤字も、足元の受注回復と金型・ゲーム案件の増加で通期黒字化見込み
- レディーバードの売上増、アクストリアのプロジェクト立て直しが収益改善を牽引

■セグメント営業利益



■個社別の増減（営業利益）

（単位：百万円）	1Q（4～6月）		2Q（7～9月）	着地見通し	要因と今後の見通し
試作・デザイン	-23		-5	200	
アペックス	-8		-25	170	上期は案件後倒しによる受注減も、固定費抑制と下期の受注回復で通期の黒字化を見込む
レディーバード	-14	+33	19	30	大手美容チェーン向け機器の販売増。通期は黒字幅の拡大を見込む
製造業DX	-192		-99	-100	
天竜精機	-79	+29	-50	-80	原価管理を強化し、追加原価を抑制。受注残積上げ・経費削減で下期単体では黒字化の見通し
アクストリア	-101	+98	-3	33	ERP案件のプロジェクト立て直しによって回復傾向。配置転換および段階的な内製化で黒字化を見込む
セレンディップ・ロボクロス	-12		-46	-53	遅延プロジェクト対応において62百万円の費用が流出。期中は内製によるプロジェクト立て直しに注力
ソリューション事業 計	-220		-108	100	

※2Qは累計から1Qを差し引いた3か月分です。
※個別業績については内部売上高又は振替高を含んでいるため、各個別業績の合計とセグメント別の数値は一致いたしません。

Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

【連結業績】売上高・営業利益見通し

- ソリューション事業の減少をモノづくり事業の増加で吸収できる見通し
- グループ全体で、コストコントロールを実施することで、新規M&Aを除いても期初予想利益を確保
- 外部環境（米国政策・中東情勢・為替など）の不透明さを踏まえて、現時点では期初予想を据え置き

■通期業績予想（期初予想）

（単位：百万円）	期初予想
売上高	64,000
調整後EBITDA	6,000
営業利益	**3,500**
（営業利益率）	5.4%
経常利益	3,300
親会社株主に帰属する当期純利益	2,200

■期初予想と通期見通し

【売上高】

（単位：百万円）	期初予想	通期見通し	増減
モノづくり事業	57,000	57,200	+200
ソリューション事業	7,000	6,750	▲250
その他	0	50	+50
合計（オーガニック）	**64,000**	**64,000**	**－**
新規M&A（日建産業）	－	5,000	+5,000
合計（非連続）	**64,000**	**69,000**	**+5,000**

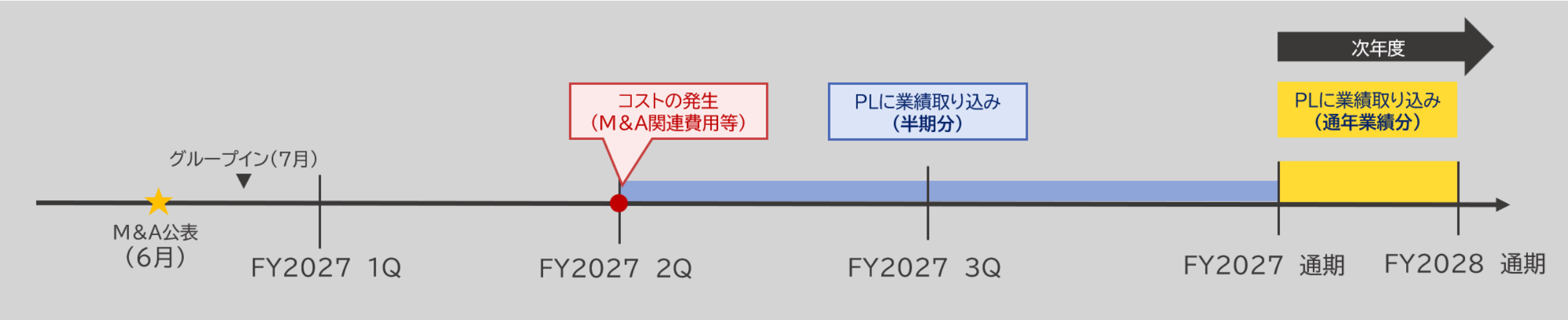
【営業利益】

（単位：百万円）	期初予想	通期見通し	増減
モノづくり事業	3,100	3,350	+250
ソリューション事業	400	100	▲300
その他	0	50	+50
合計（オーガニック）	**3,500**	**3,500**	**－**
新規M&A（日建産業） ※取得費用含む	－	76	+76
合計（非連続）	**3,500**	**3,576**	**+76**

Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

FY2027 2Qの日建産業の業績貢献

- M&A関連費用・のれん償却の発生で今期の営業利益は微増にとどまるも、来期より通期で貢献へ



単位：百万円	FY2027（今期）			FY2028（来期）参考値※	備考
	2Q	3Q・4Q	通期	通期換算	
売上高	－	5,000	5,000	10,000	3Q・4Qは半期分を連結。来期は通期分を連結
営業利益（のれん償却前）	－	350	350	700	来期より通期で業績を連結
M&A関連費用（取得費用）	-174	－	-174	－	取得関連費用を2Qに計上
のれん償却	－	-100	-100	-200	のれん総額26億円を13年で償却（年間2億円）
営業利益への寄与	-174	250	76	500	今期は費用が先行。来期より通期で利益貢献

※FY2028（来期）の数値は、FY2027（今期）下期の業績寄与を単純に通期換算した参考値であり、来期の業績予想を示すものではありません。

Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

連結貸借対照表サマリ

- 資金調達プラットフォームである「株式会社ものづくり事業承継ホールディングス（JMS）」設立により、純資産が増加
- 日建産業を連結したことにより、総資産・負債が増加

（単位：百万円）	2026年3月期末	2027年3月期2Q	増減額
総資産	57,655	**65,326**	+7,671
流動資産	28,824	**33,338**	+4,514
固定資産	28,831	**31,987**	+3,156
負債	40,592	**45,475**	+4,883
流動負債	24,761	**27,583**	+2,821
固定負債	15,830	**17,892**	+2,062
純資産	17,063	**19,850**	+2,787
（内、自己資本）	（13,486）	（14,271）	（+785）
自己資本比率	23.4%	**21.8%**	-1.6pt

Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

Index

1. 決算概況
2. トピックス
3. Appendix

三井屋工業・エクセルをSerenACへ統合

- 技術・生産・開発機能を融合することで、自動車部品事業の成長を加速

① 統合の目的

技術・生産・開発を融合し 顧客への提案力を向上

共通する樹脂成型の技術を融合



三井屋工業の技術「深絞り」

×



エクセルの技術「3次元ブロー」

単一の経営体制のもと 意思決定の迅速化と経営資源の最適配分

営業・技術	顧客窓口・価格決定を一元化
経営体制	生産・出荷・品質保証まで一体運営
管理機能	集約済みの会計・IT等を新体制へ移行



SerenAC・三井屋工業・エクセル 代表取締役社長　髙橋 直輝

1992年　三井屋工業に入社。営業・調達・生産など各部門を経験
2020年　代表取締役社長に就任。DXを活用した経営改革と現場変革を推進
2025年　エクセル株式会社 代表取締役社長を兼任

② 合併スケジュール ― 当社PMI標準化により統合準備は順調に推移

2025年11月18日	2026年1月	2026年10月20日	2026年12月25日	2027年4月1日
統合方針を公表	バックオフィス統合（完了）	合併承認取締役会	合併契約締結（予定）	合併効力発生（予定）

Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

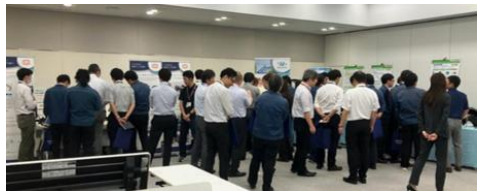
事例：統合に先行し、系列・技術・国の壁を越えた提案活動を展開

- 中計「セレンディップ・チャレンジ1000」のオーガニック成長（ユニットサプライヤー化・グローバル展開）が進展
- 経営力を基盤にグループ統合を推進し、営業・技術の連携で顧客接点と提案機会を拡大

SerenAC
Serendip Automotive Co.,Ltd.

① 系列の壁を越える

系列を超えて売る



- 大手OEMとの直取引を活かしクロスセル
- いすゞ社向けにグループ展示会を開催
- 拡販に向けた商品開発を促進

② 技術の壁を越える

技術をつないで価値を売る



- 三井屋工業とエクセルが技術を補完し合い、共同で提案できる体制を構築済み
- 統合後は両社の技術を融合し提案力を強化

③ 国の壁を越える

国を越えて市場を取りに行く



- 北米・中国・インドで営業を強化
- 共同営業でインド案件を受注
- タイでグループ展示会を開催

統合後はSerenACを核に、ボーダレス提案でユニットサプライヤーへの成長を飛躍的に加速

Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

JMS：追加調達を推進中、潤沢な案件パイプラインに備える

- 2026年6月に株式会社ものづくり事業承継ホールディングス（JMS）を設立し、初の案件として日建産業を実行済み
- 資金調達を段階的に進め、投資余力を拡大し候補案件へ対応

1st
当初計画
＋現在の進捗

投資可能額 約100億円
（JMS自己勘定 約25億円＋LBOローン 約75億円）

日建産業（実行済）
約50億円

投資可能額（残り）
約50億円

◂ 約50% 実行済　　残り約50% ▸

M&A可能件数※
約2件
（売上300億円規模）

3年後（目標）

投資可能額 約400億円（目標）
（JMS自己勘定 約100億円＋LBOローン 約300億円）

1st 実行済
約50億円

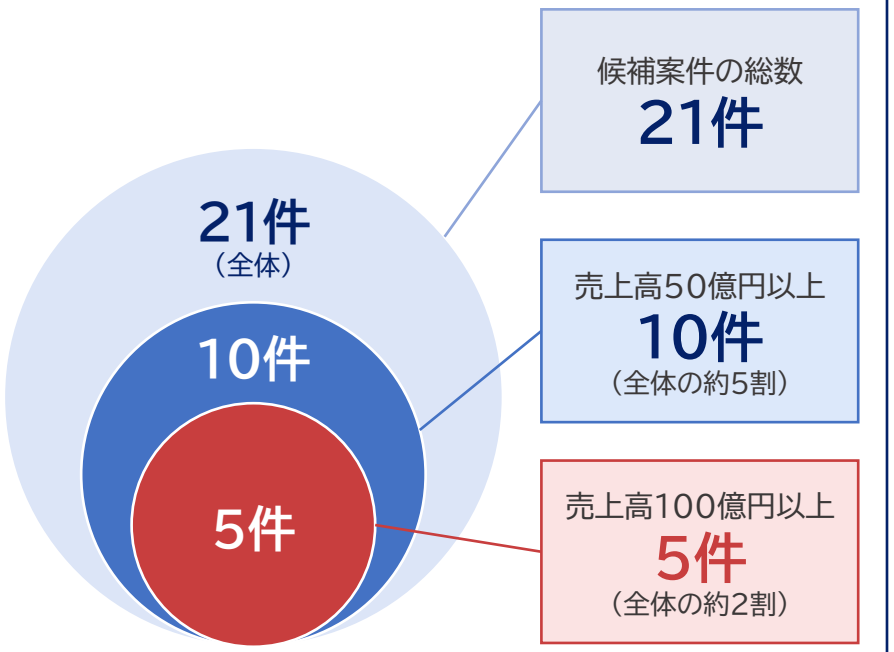
1st 残り
約50億円

2nd
追加調達（推進中）

3nd以降
さらなる追加調達

M&A可能件数※1
約7～8件
（売上1,000億円規模）

現在の案件パイプライン（売上高規模別）



※M&A可能件数は、買収価格 約50億円/件、1社あたり売上高150億円規模を前提とした試算

Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

Index

1. 新セグメントの概要と決算概況
2. トピックス
3. Appendix

連結実効税率が高くなった背景

- 通常税率を上回る税負担275百万円は「海外源泉所得税」と「赤字会社等の影響」に分解

連結損益の概要

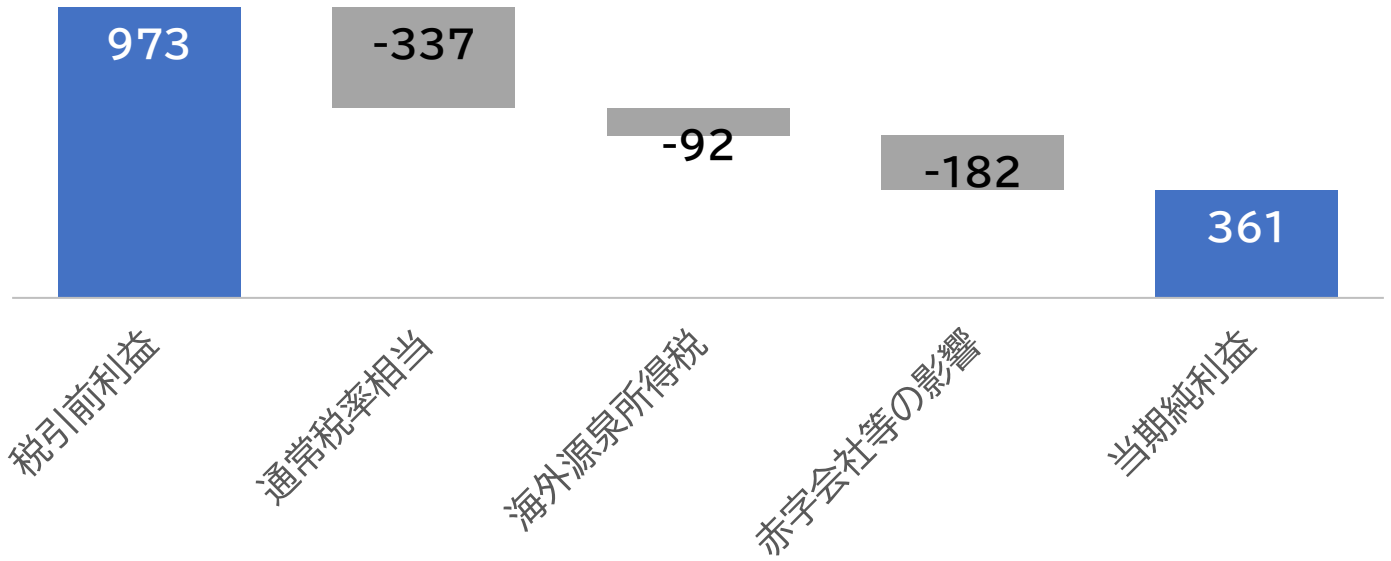
税引前利益	973百万円
税金費用	612百万円
当期純利益	361百万円
実効税率	62.9%

実効税率上昇の2要因

① 海外源泉所得税　92百万円
エクセル59百万円＋サーテックカリヤ34百万円

② 赤字会社等の影響　182百万円
赤字会社の欠損を十分に相殺できず、税効果も全額認識できない影響等

税引前利益から当期純利益への増減（単位:百万円）



通常税率を上回る税負担　275百万円
税金費用612百万円 － 通常税率相当337百万円

※通常税率相当額337.4百万円＝税引前利益972.6百万円×34.6946%。赤字会社等182百万円は残差であり、その他の永久差異・税率差異を含む
※海外子会社からの受取配当金は869百万円

Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

株価推移（上場時～現在）

- 株価は上場時から最大約7.8倍まで上昇。業績回復とM&Aを含む成長戦略の推進により、さらなる企業価値の向上に取り組む



※株価・時価総額は終値ベース。株式分割後の株価・株式数で算出。

Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

【2027年3月期】 通期業績予想

再掲

- 前期にグループインしたサーテックカリヤが通期業績に寄与することで、「モノづくり事業」を中心に非連続的な増収・増益を見込む
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、前期にM&Aに伴う負ののれん発生益（3,069百万円）を特別利益として計上したため減益となるが、22億円を確保

（単位：百万円）	2027年3月期 予想	2026年3月期 実績	増減額	増減率 （%）
売上高	64,000	51,163	12,837	+25.1%
調整後EBITDA	6,000	4,572	1,428	+31.2%
営業利益	3,500	2,189	1,311	+59.8%
（営業利益率）	（5.4%）	（4.3%）	-	-
経常利益	3,300	2,418	882	+36.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,200	4,147	-1,947	-47.0%

Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

【2027年3月期】セグメント別の売上高・利益の見通し

- 連結の通期業績予想は据え置き（変更なし）
- モノづくり事業は上振れ、ソリューション事業は下振れにより、セグメント間で内訳を見直し

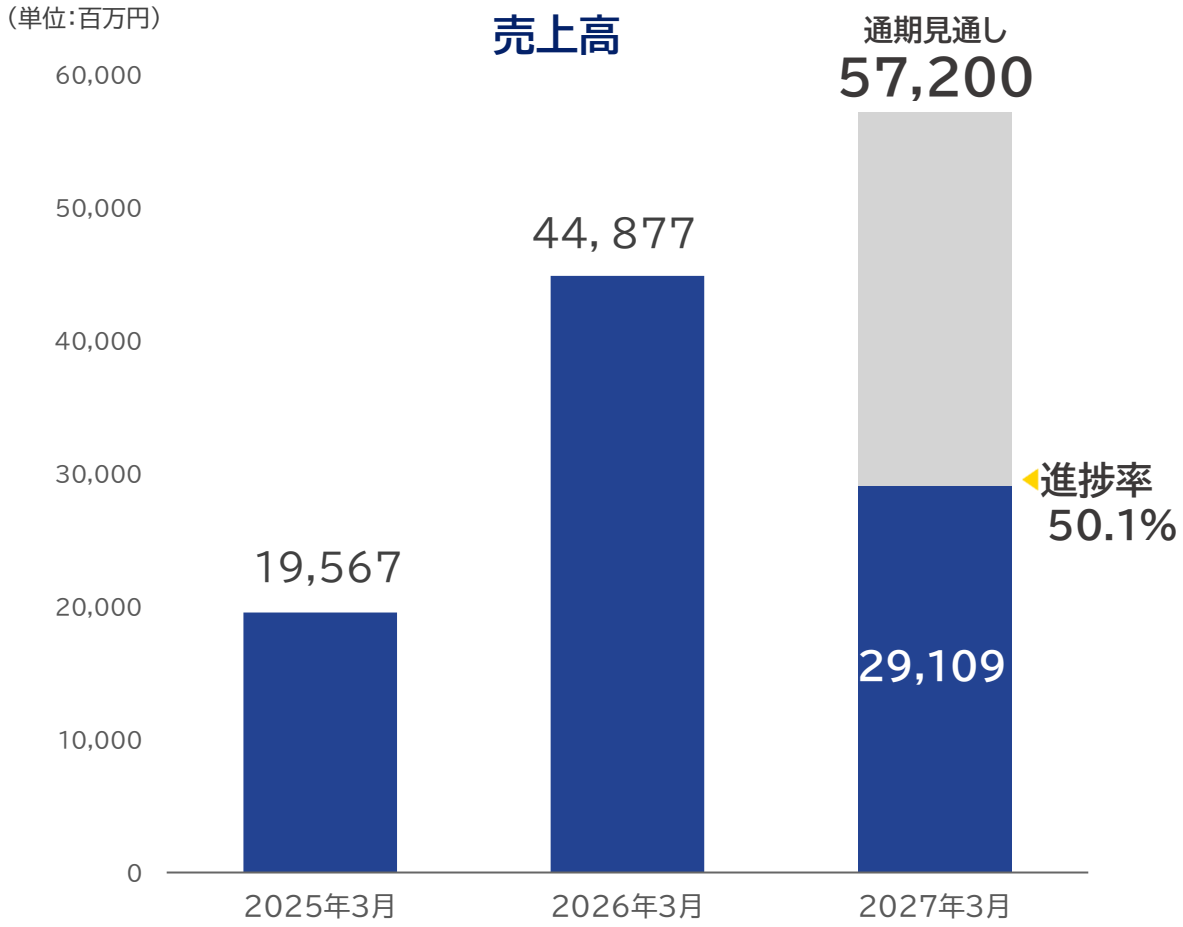
（単位：百万円）	セグメント売上高					セグメント利益				
	2026年3月期 実績	2027年3月期 期初予想（5/14公表）	2027年3月期 通期見通し（11/13）	前期比		2026年3月期 実績	2027年3月期 期初予想（5/14公表）	2027年3月期 通期見通し（11/13）	前期比	
				増減額	増減率（%）				増減額	増減率（%）
モノづくり事業	44,877	57,000	57,200	+12,323	+27.5%	1,896	3,100	3,350	+1,454	+76.7%
ソリューション事業	6,299	7,000	6,750	+451	+7.2%	280	400	100	▲180	ー %

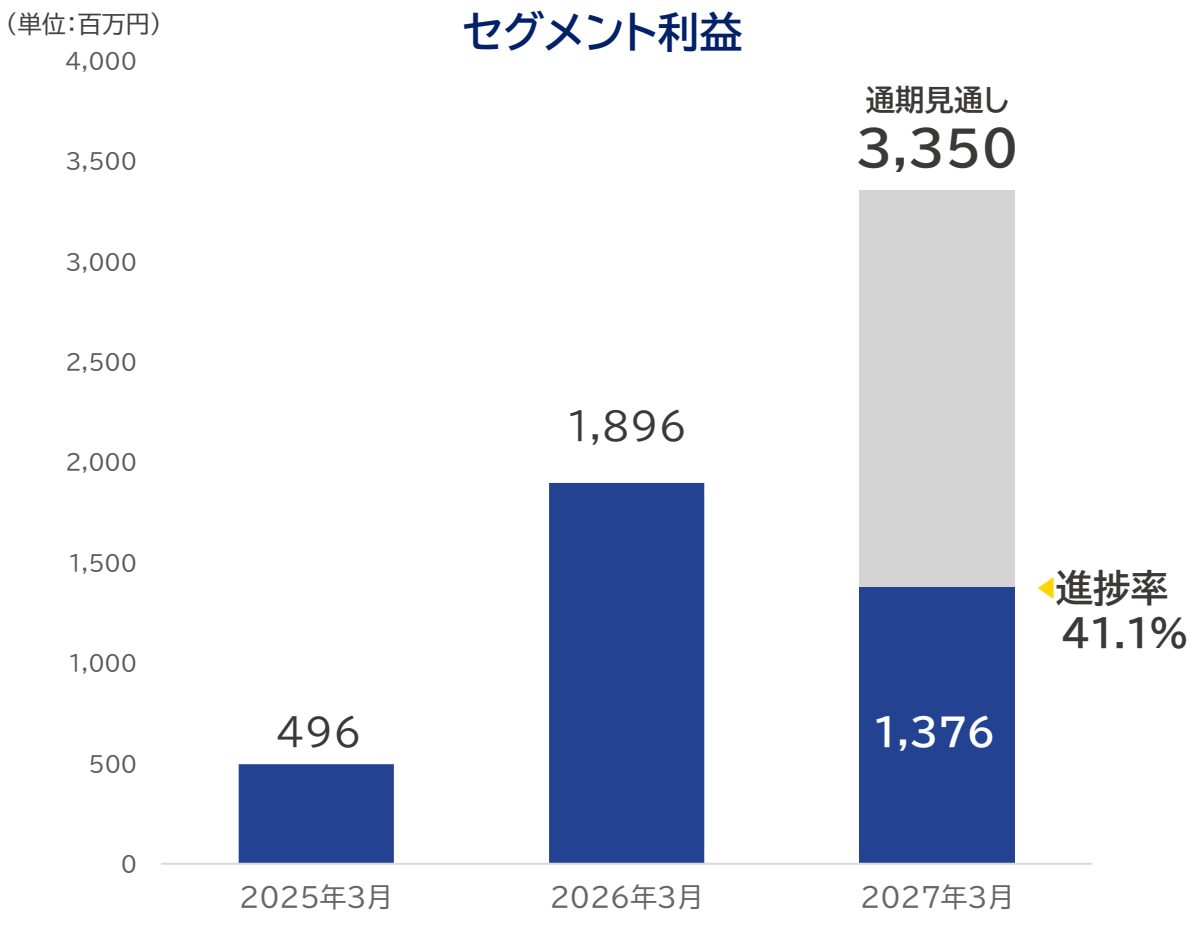
（注）1. セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。
2. 2027年3月期 第1四半期より、セグメント区分を変更しております。
3. 日建産業（モノづくり事業）の業績は含めておりません。

Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

【モノづくり事業】 業績推移と進捗状況

- 自動車の国内生産台数が当社想定より上振れて進捗しており、モノづくり事業の売上高は堅調に推移
- 中東情勢や国内災害等の影響を受けるなか、生産性向上と価格適正化により収益性を確保





※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。
※2027年3月期第1四半期よりセグメント区分を変更しております。2025年3月期および2026年3月期の実績については、新セグメント区分に組み替えて表示しております。

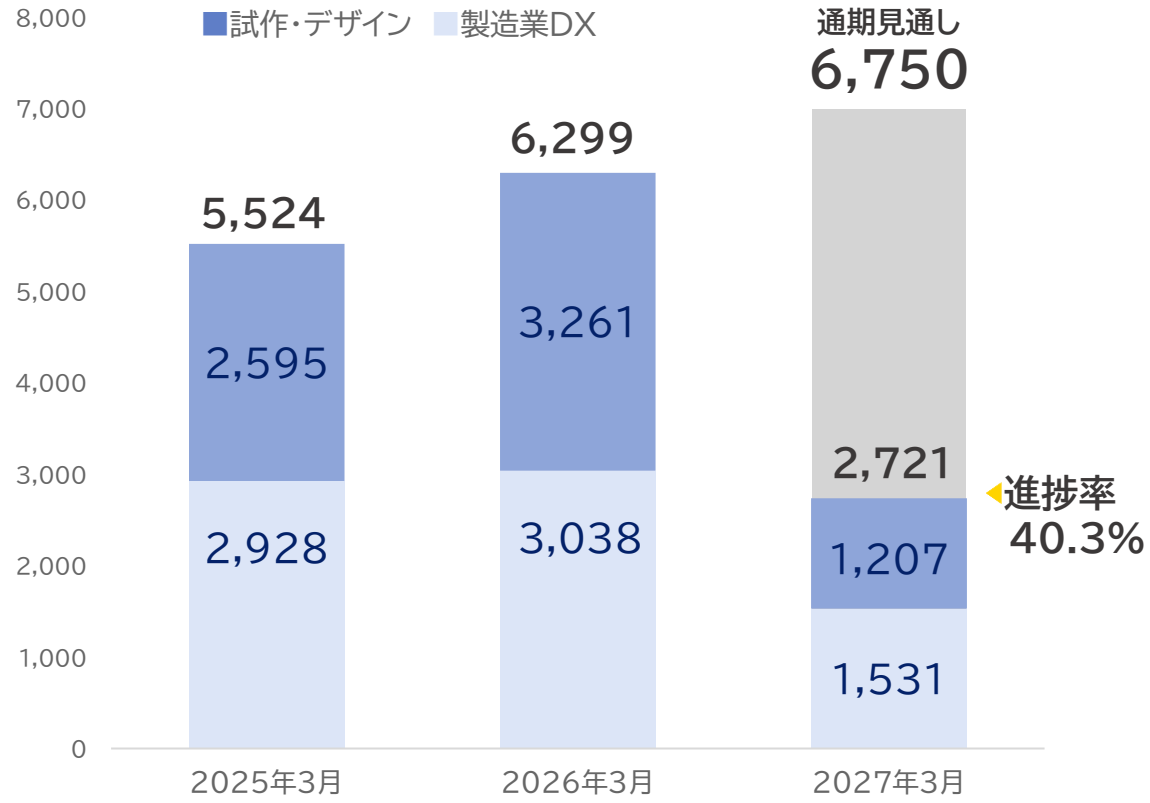
Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

【ソリューション事業】 業績推移と進捗状況

- 案件の期ずれや試作品受注の減少により、上期売上高は当初予想を下回る
- 2Qでは赤字幅が縮小しており、下期の案件進捗により通期での黒字化を見込む

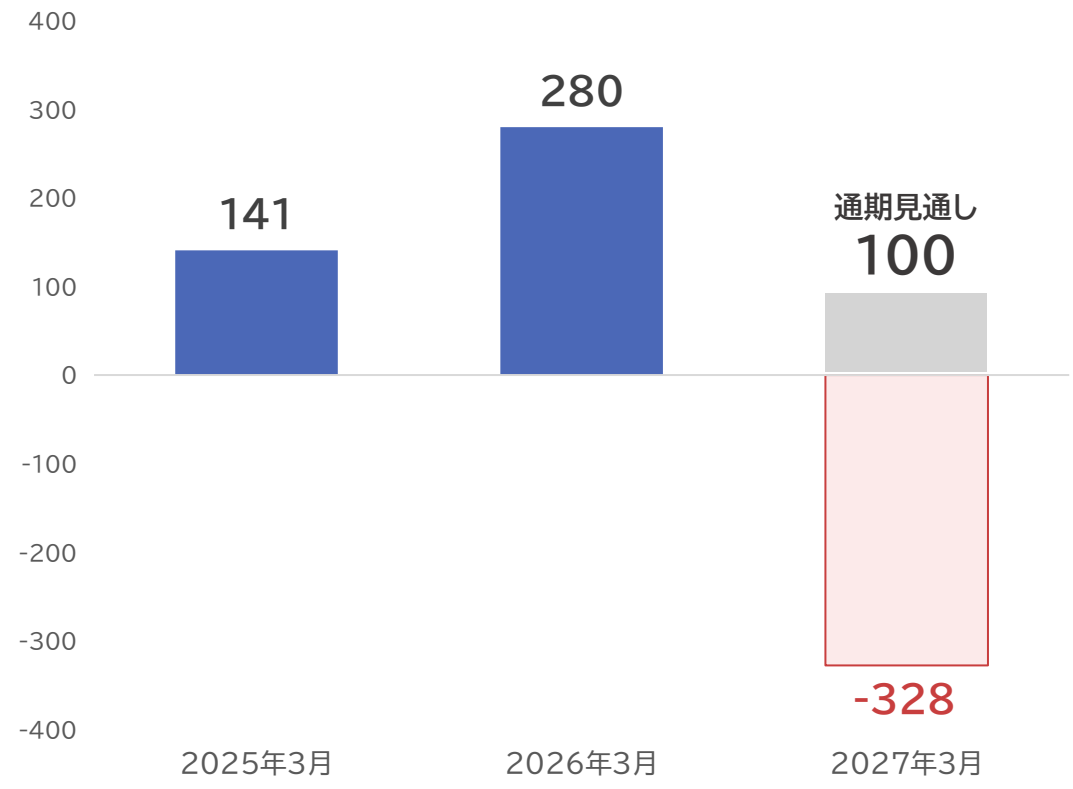
（単位：百万円）

売上高



（単位：百万円）

セグメント利益



※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。
※2027年3月期第1四半期よりセグメント区分を変更しております。2025年3月期および2026年3月期の実績については、新セグメント区分に組み替えて表示しております。
※試作・デザインおよび製造業DXの個別業績には内部売上高または振替高が含まれているため、個別業績を合算した数値とセグメント合計の数値は一致しません。

Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

グループ会社別の業績推移

■売上高

（単位：百万円）		1Q	2Q	3Q	4Q	累積
連結	FY2026	9,345	9,945	16,047	15,825	19,290
	FY2027	15,872	15,990			31,862
	YoY増減	6,526	6,044			—
モノづくり事業						
ユニクレア	FY2026	2,709	2,881	2,793	2,865	5,590
	FY2027	2,795	2,779			5,575
	YoY増減	86	(▲101)			—
三井屋工業	FY2026	2,552	2,706	2,976	2,945	5,259
	FY2027	3,005	3,419			6,424
	YoY増減	453	712			—
エクセル・グループ	FY2026	2,825	2,906	3,046	3,170	5,731
	FY2027	3,772	3,187			6,959
	YoY増減	946	281			—
サーテックカリヤ	FY2026	—	—	5,638	4,886	-
	FY2027	5,075	5,132			10,207
	YoY増減	-	-			—
ソリューション事業（試作・デザイン）						
アペックス	FY2026	503	627	622	599	1,130
	FY2027	473	413			887
	YoY増減	(▲30)	(▲214)			—
レディーバード	FY2026	107	100	172	321	207
	FY2027	113	207			320
	YoY増減	6	107			—
ソリューション事業（製造業DX）						
天竜精機	FY2026	254	191	258	452	446
	FY2027	219	365			584
	YoY増減	(▲35)	174			—
アクストリア	FY2026	362	828	95	468	1,191
	FY2027	342	445			787
	YoY増減	(▲20)	(▲383)			—
セレンディップ・ロボクロス	FY2026	45	129	31	189	174
	FY2027	115	45			160
	YoY増減	70	(▲84)			—
その他						
セレンディップ・ホールディングス	FY2026	189	220	217	209	410
	FY2027	256	287			544
	YoY増減	67	66			—
セレンディップ・フィナンシャルサービス	FY2026	57	56	19	12	114
	FY2027	10	15			26
	YoY増減	(▲47)	(▲41)			—

■営業利益

（単位：百万円）		1Q	2Q	3Q	4Q	累積
連結	FY2026	529	170	941	549	699
	FY2027	530	496			1,027
	YoY増減	1	326			—
モノづくり事業						
ユニクレア	FY2026	31	35	54	47	67
	FY2027	108	85			194
	YoY増減	77	50			—
三井屋工業	FY2026	138	159	173	150	297
	FY2027	225	482			707
	YoY増減	87	322			—
エクセル・グループ	FY2026	307	199	351	51	506
	FY2027	216	222			438
	YoY増減	(▲90)	22			—
サーテックカリヤ	FY2026	—	(▲263)	272	180	(▲263)
	FY2027	204	22			227
	YoY増減	-	286			—
ソリューション事業（試作・デザイン）						
アペックス	FY2026	64	76	68	72	140
	FY2027	(▲8)	(▲24)			(▲33)
	YoY増減	(▲72)	(▲100)			—
レディーバード	FY2026	(▲2)	(▲3)	3	18	(▲5)
	FY2027	(▲14)	20			5
	YoY増減	(▲12)	24			—
ソリューション事業（製造業DX）						
天竜精機	FY2026	(▲17)	(▲85)	4	26	(▲103)
	FY2027	(▲79)	(▲50)			(▲129)
	YoY増減	(▲62)	35			—
アクストリア	FY2026	8	103	(▲25)	14	111
	FY2027	(▲101)	(▲2)			(▲104)
	YoY増減	(▲110)	(▲106)			—
セレンディップ・ロボクロス	FY2026	(▲25)	(▲62)	49	29	(▲88)
	FY2027	(▲12)	(▲46)			(▲58)
	YoY増減	13	16			—
その他						
セレンディップ・ホールディングス	FY2026	20	37	7	(▲12)	57
	FY2027	20	0			21
	YoY増減	0	(▲36)			—
セレンディップ・フィナンシャルサービス	FY2026	14	(▲7)	(▲16)	(▲18)	7
	FY2027	1	7			9
	YoY増減	(▲12)	14			—

※セレンディップ・ロボクロス：2025年8月に当社コンサルティングRX事業が移管。FY2026は合算ベースで表示。
※アクストリア：2026年4月に当社コンサルティングRX事業が移管。FY2026は合算ベースで表示。

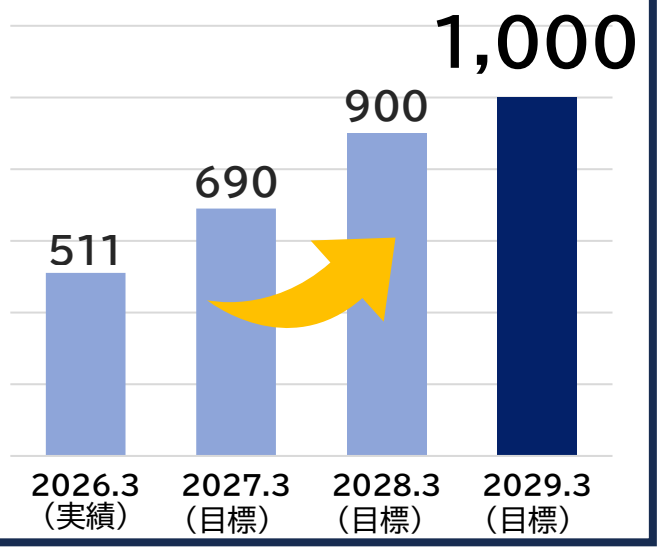
Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

中期経営計画 「セレンディップ・チャレンジ1000」始動

売上高

1,000億円
(2029.3目標)

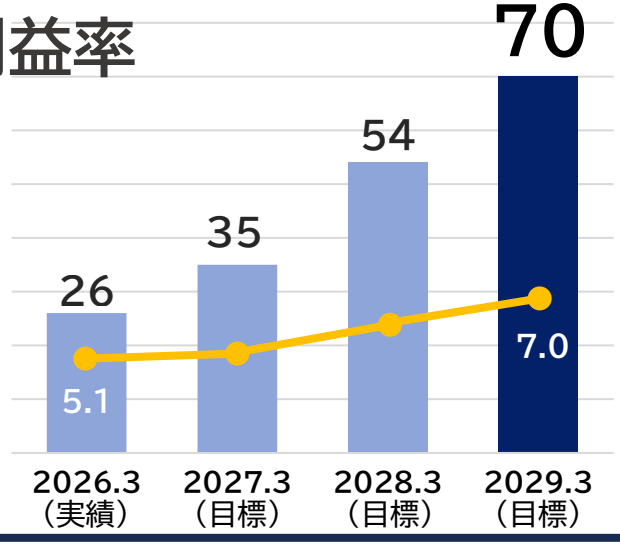
M&Aによる非連続成長と既存事業のオーガニック成長の双方を示す最重要トップライン指標。



調整後営業利益・利益率

70億円 [7.0%]
(2029.3目標)

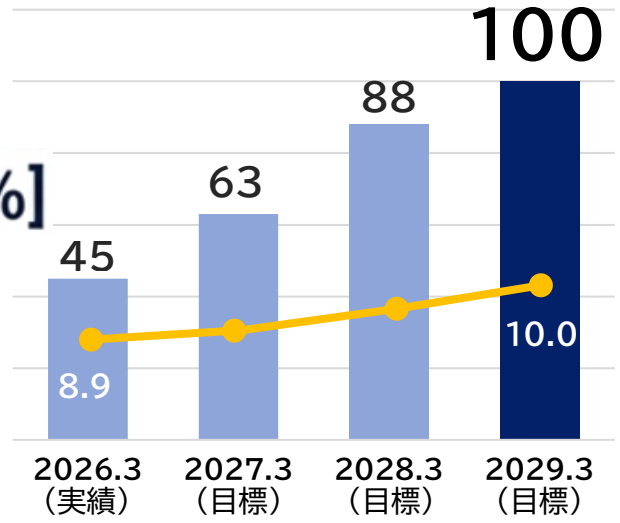
調整後営業利益＝営業利益＋のれん償却費＋M&A関連費用。M&A関連の一過性要因を除いた実力ベースの収益力を把握するための指標。



調整後EBITDA

100億円 [10.0%]
(2029.3目標)

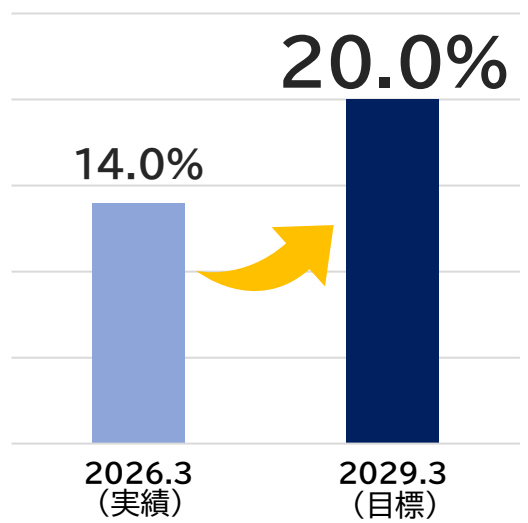
調整後EBITDA＝調整後営業利益＋減価償却費。キャッシュ創出力(稼ぐ力)を示す指標。



調整後ROE

20.0%
(2029.3目標)

調整後ROE＝調整後当期純利益(当期純利益＋のれん償却費＋M&A関連費用一負ののれん発生益)をベースに算定。資本効率の向上と株主価値の最大化を図るために重視する指標。

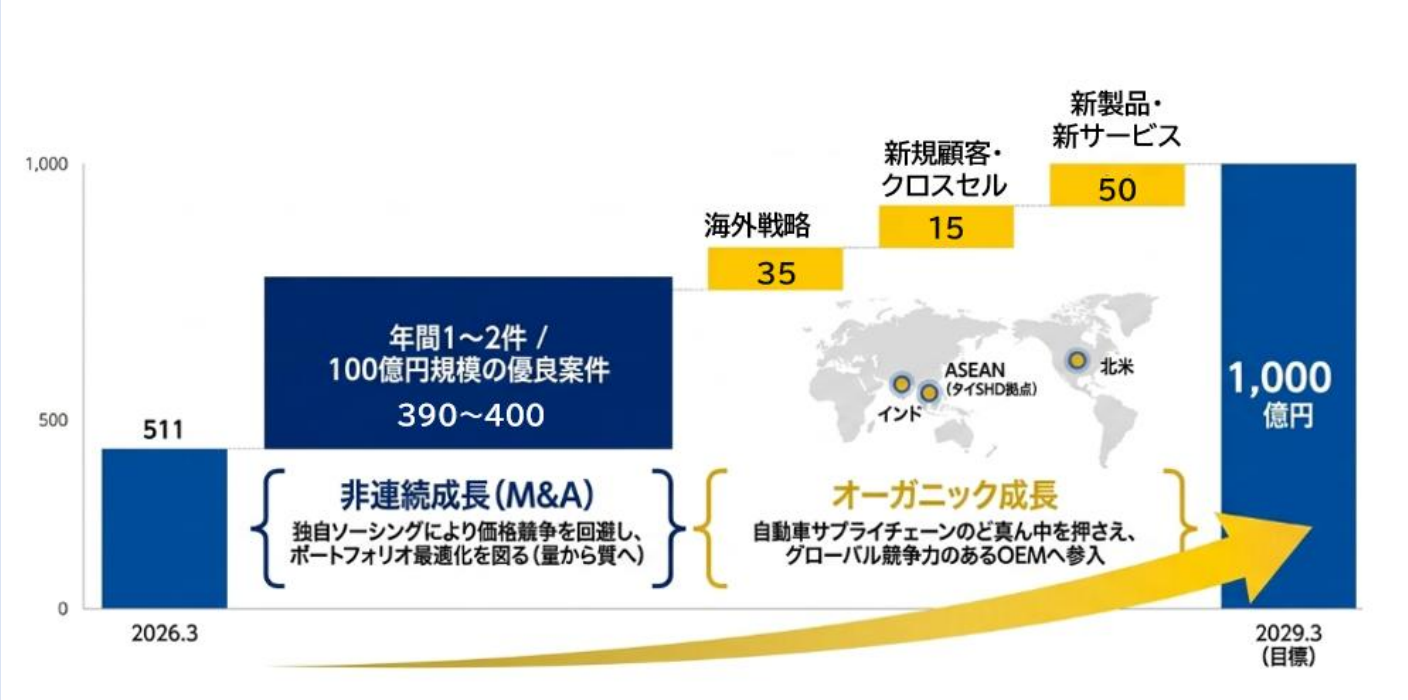


Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

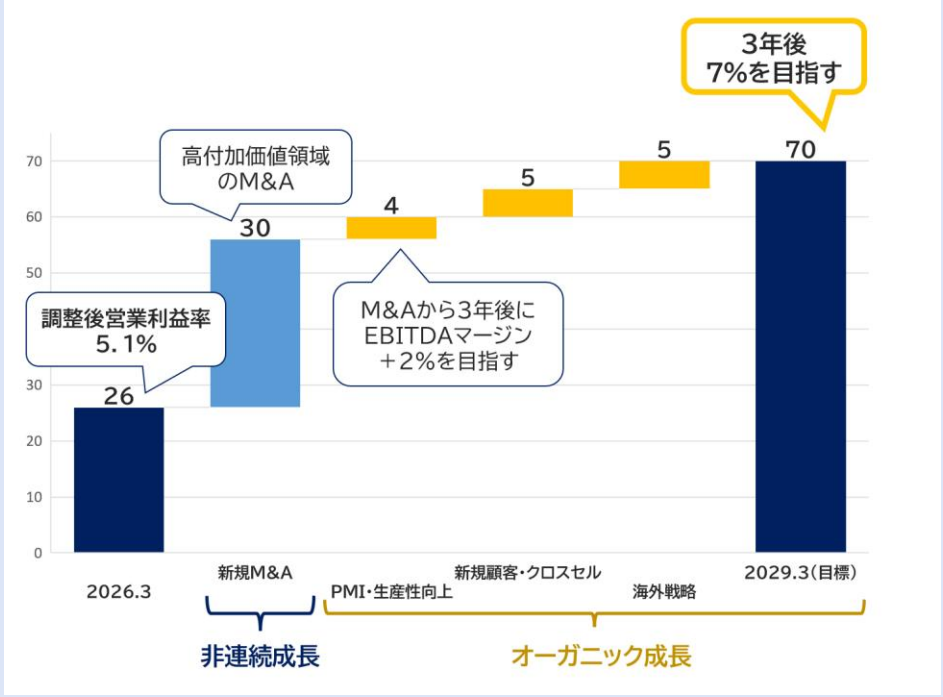
非連続成長とオーガニック成長により売上高1,000億円へ

・売上高は、「戦略主導型ソーシング」による案件獲得と、「ユニットサプライヤーへの進化・グローバル展開」による既存事業拡大を両立し、倍増を目指す
・営業利益は、非連続成長（M&A）とオーガニックの両輪で、調整後営業利益率7%を実現

売上高1,000億円への成長のロードマップ



調整後営業利益率7%への成長ロードマップ



Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

再生・事業承継｜モノづくり事業承継プラットフォーム

3つの基盤の好循環により成長が加速し、この好循環から生み出された利益とキャッシュを原資として次のM&Aや持続的な成長投資を実行する

Ⅰ. M&A実行基盤

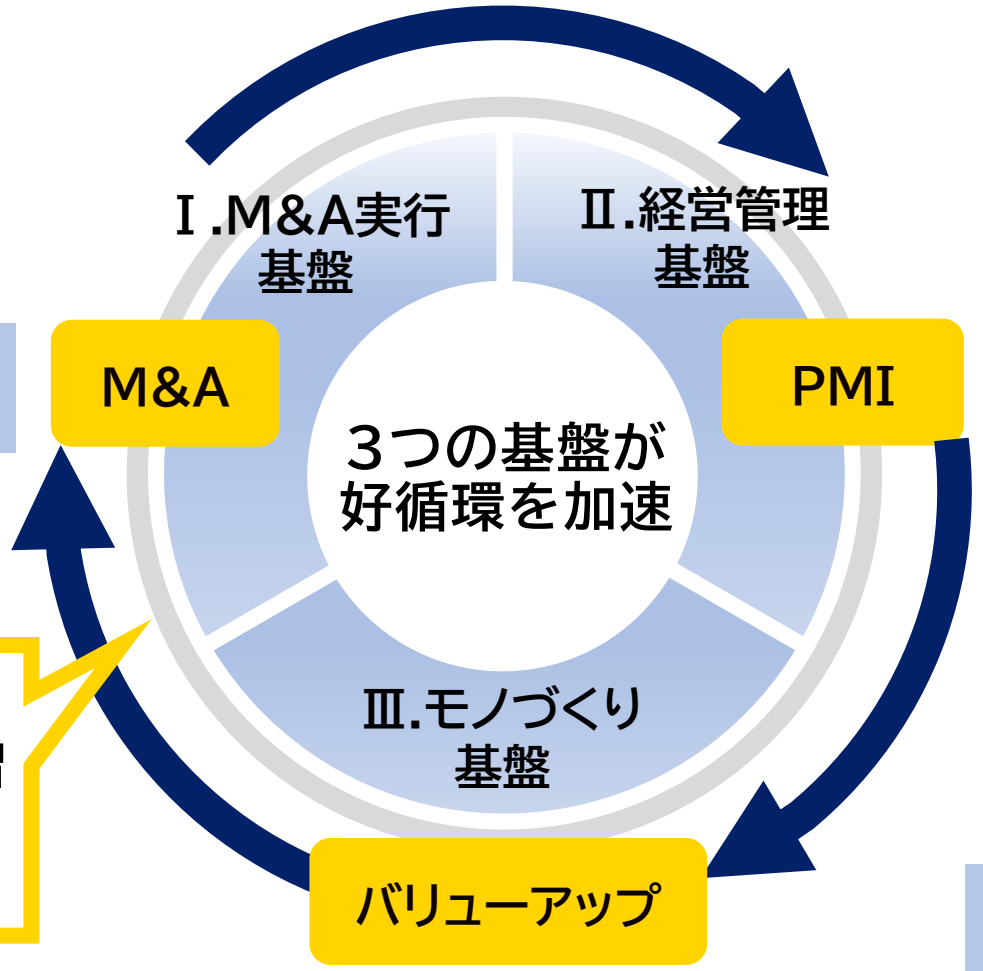
「セレンディップ投資ポートフォリオ」の方針に基づきM&Aプロセス全体（M&Aチャネル開拓、M&A戦略立案/実行）の遂行。グループに新たな成長ドライバーを供給。

セレンディップ・
インベストメント・スタンダード

Ⅱ. 経営管理基盤

グループ全体の価値を最大化するために、統一・標準化された経営システムをプロ経営者によるチーム経営で導入する。ムリ・ムダ・ムラを把握、排除しコスト削減をはかる。

セレンディップ・
マネジメント・スタンダード



Ⅲ. モノづくり基盤

スマートファクトリー化による製造現場の生産性向上、R&Dを通じた高付加価値領域への挑戦、グループ間でのクロスセルや海外進出による顧客基盤の拡大など、持続的なバリューアップをはかる。

セレンディップ・
バリューアップ・スタンダード

好循環が加速することによりM&Aや成長投資の原資が増加し、さらなる成長が可能となる

Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

セレンディップ投資・事業ポートフォリオ戦略｜高成長・高収益領域への投資比率を拡大

- モノづくり事業を成長の基盤とし、DX・ロボット/AI・新領域など高成長・高収益分野への投資を加速

変更前

投資比率 30%

投資比率 70%

セレンディップ投資ポートフォリオ(SIP)

ソリューション事業

投資比率 35%

高成長・高収益領域

グループ全体の生産性向上を牽引・高付加価値事業

- **試作・デザイン**
  製品開発の上流工程へ参画し付加価値を創出
- **次世代モノづくりソリューション**
  ソフトウェア・AI・IT人材・コンサルティングによる生産性向上支援
- **スマート工場(フィジカルAI)**
  自動化設備、ロボット、画像認識、AIを活用した次世代製造ソリューション

ものづくり事業

投資比率 65%

安定収益・基盤領域

国際競争力が高く、サプライチェーンが強固な分野

- **自動車部品メーカー横断**
  安定収益を生み出す自動車部品サプライヤー
- **建設機械**
  強固なサプライチェーンへ参入し、新たな成長基盤を構築
- **新たな柱の確立**
  航空宇宙/医療機器 等の成長領域開拓

新たな領域へ進出

Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

類似企業(シリアルアクワイアラー)比較｜PMIとロールアップで価値を創出

- 非連続成長だけでなく、PMIと現場改革で持続的成長を実現
- 単なる子会社の積み上げでなく、ロールアップによる統合でグループ全体の経営を高度化

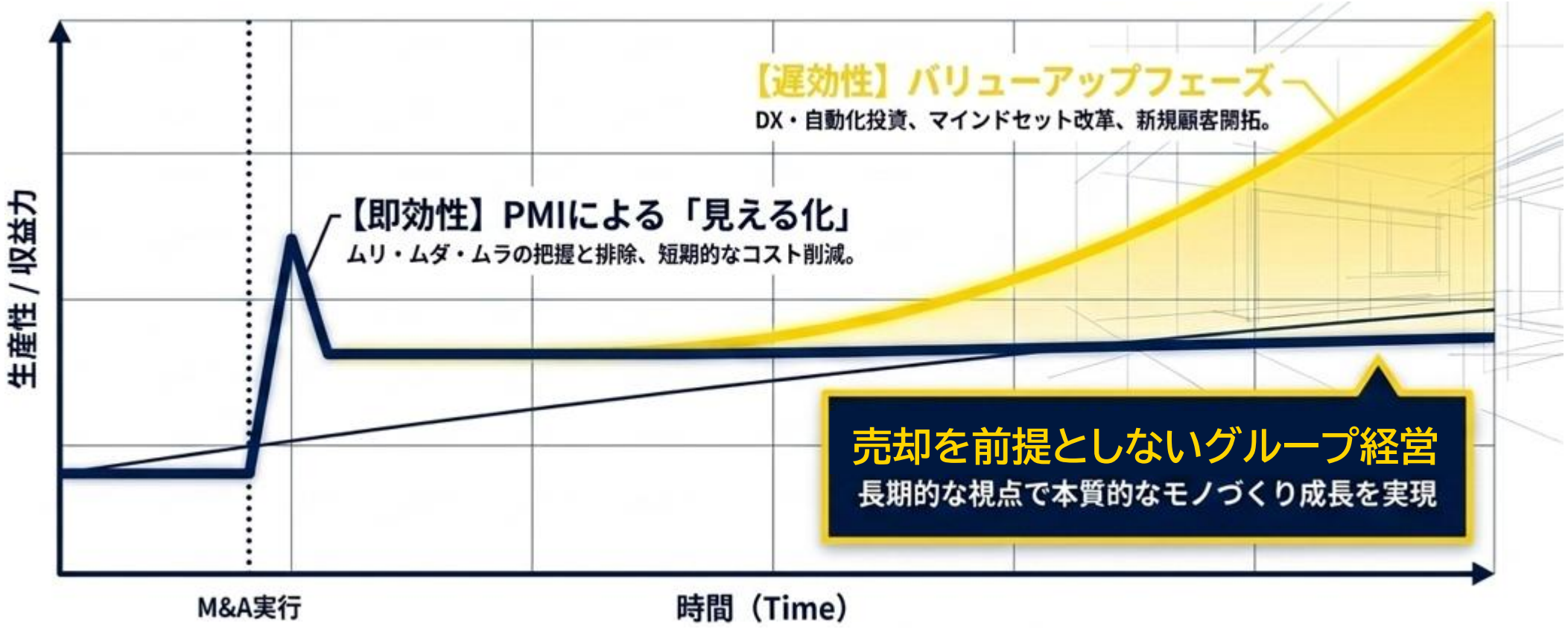
■M&A市場におけるポジショニング

成長に必要な要素		SERENDIP HOLDINGS	類似企業（シリアルアクワイアラー）	PEファンド
PMI（統合・成長支援）	経営改革（PMI）	✓ 社員育成＋外部登用あり	△ 内部人材や特定人材に依存	×
	ロールアップ・グループ内統合	✓ グループ横断で統合・シナジー創出	× 個社積み上げ	×
バリューアップ（価値向上）	モノづくり改善・変革ノウハウ	✓ コンサル・事業会社出身者多数	△ 金融出身者が多い	×
	R&D強化で新規事業創出	✓ 新規事業を継続的に創出	×	×

Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2024 All rights reserved.

再生・事業承継｜モノづくりの成長可能性

セレンディップは、M&Aによる「非連続的成長」や即効性のあるPMIのみではなく、長期的視点に立たなければできない投資や改革にも腰を据えて取り組み、グループ企業を成長させる「オーガニック成長」も重視している



モノづくり事業承継プラットフォームによって、
収益性が高く競争力のある中堅・中小モノづくり企業へと成長させていく

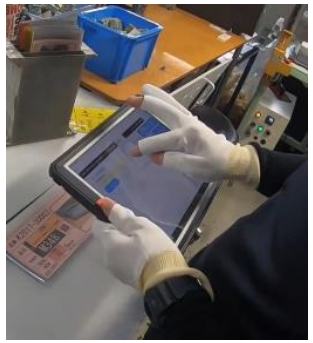
Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

バリューアップフェーズ｜三井屋工業(本社:愛知県豊田市)の実例

スマートファクトリー戦略



▼アナログからデジタルへ

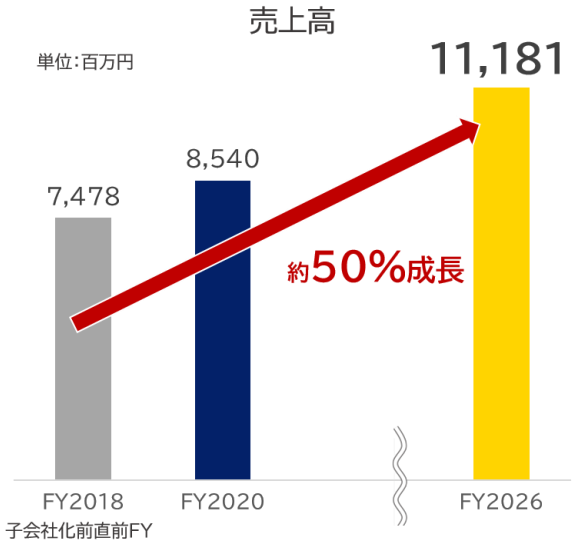


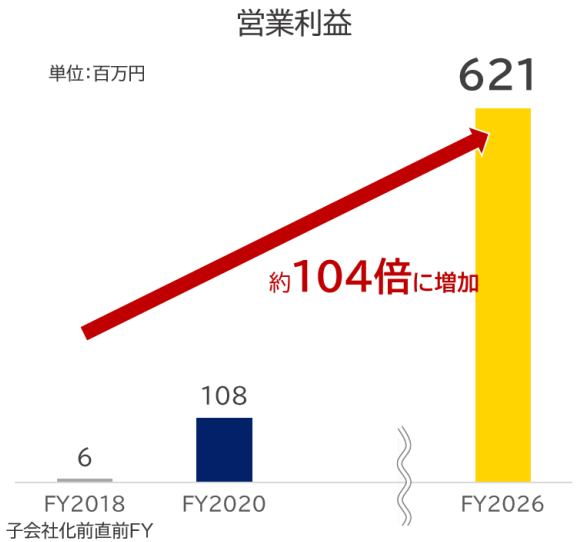
▼ロボットが活躍する現場



徹底した省人化で**生産性2倍**を実現

営業利益6百万円→6億円の飛躍





Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

ロールアップ・グループ内統合｜系列・技術・国の壁を超えるボーダレス展開

グループ統合を基盤に、系列・技術・国の壁を越えた横断的な営業・開発・供給体制を構築し、成長を加速

中核：セレンディップ・オートモーティブ

① 系列の壁を越える

系列を超えて売る

- 顧客基盤の共有と既存系列を超えたクロスセルの推進
- 主要顧客への深耕・新規顧客獲得の横展開
- 未取引OEM・Tier1への提案機会拡大

② 技術の壁を越える

技術をつないで価値を売る



- 技術別カンパニー連携によるモジュール提案
- 環境・EV・快適性等の価値を組み込んだ高付加価値化
- 技術統合による価格決定力と収益性の強化

③ 国の壁を越える

国を越えて市場を取りに行く

- 海外拠点のグループ横断活用・顧客のグローバル生産対応
- 海外での部品供給・販路拡大を通じた新市場開拓
- ASEAN・北米・インド等のグローバルOEM網への参入

クロスセル拡大 × モジュール提案強化 × グローバル市場開拓 ＝ ボーダレスな成長モデル

ボーダレス展開により、ユニットサプライヤーとしての成長を飛躍的に加速

Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

ロールアップ・グループ内統合｜ユニットサプライヤーへの進化

グループ内統合やロールアップ型M&Aを通じて、単品加工からユニットサプライヤーへ進化し、付加価値と収益性の向上を図る



- 技術の組み合わせによる高付加価値製品の提供
- 集積性の向上と競争力の強化
- 環境・電動化（EV）・快適性などの顧客価値を起点としたモジュール提案の推進

Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

スマートファクトリー戦略の全体像

データ活用と実行の統合により自社グループ内工場の生産性を高め、蓄積したノウハウを将来的に外販し、新たな収益の柱へ育成

内製改善とソリューション化による価値創出モデル



Phase 1 ：【内製価値】
自社グループ内PoC → OEE改善・生産性向上 →
EBITDAマージン改善

Phase 2 ：【外販価値】
ノウハウの標準化・パッケージ化 → ソリューション外販
→新たな収益事業化・売上成長

※前中計チャレンジ500での「フューチャーファクトリー」をより一般的にわかりやすい表現とするため「スマートファクトリー」に変更しております。

Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

フィジカルAIの実装戦略

フィジカルAIを自社グループ内工場に試験導入し、定型業務の自動化・省人化からさらに進んだ非定型業務の自動化・省人化を推進。さらに、蓄積したノウハウをソリューションサービスとして外販する

実装済み領域





- 物流・搬送工程の自動化（AGV等による搬送ロボット）
- 定型作業の自動化・省人化（協働ロボット）

次世代領域





- 非定型作業への対応（ヒューマノイド・フィジカルAI）
- 多能工的作業・人の柔軟な判断を伴う工程への適用

2029年3月期にこの領域における売上高11億円を目指す

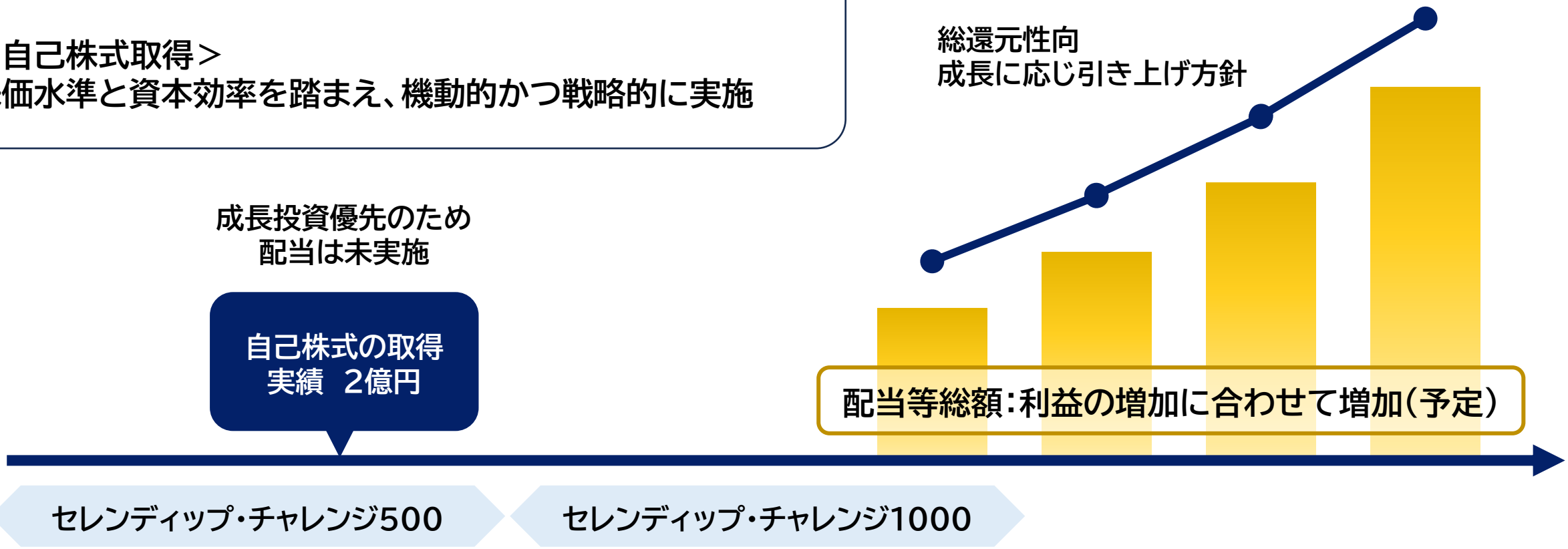
Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

財務戦略｜株主還元

利益の増加と資本効率を踏まえ、成長フェーズに応じて総還元性向を引き上げる方針

＜配当/優待＞
本中期経営計画の達成確度に応じて配当/優待を実施（予定）

＜自己株式取得＞
株価水準と資本効率を踏まえ、機動的かつ戦略的に実施

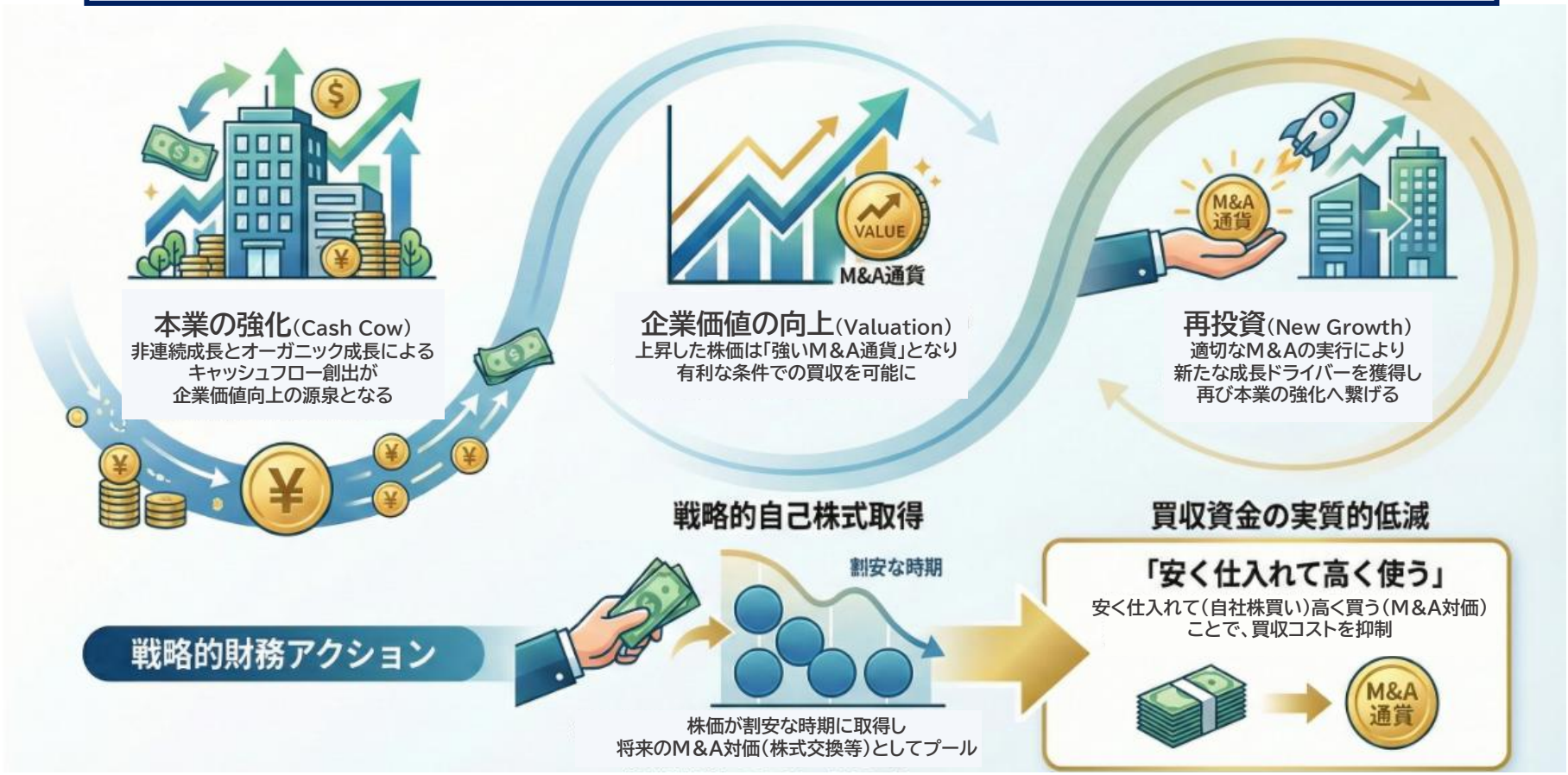


Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

自己株式取得の目的｜M&A資金への活用

- 将来のM＆Aにおける対価として活用することを見据え、自己株式を取得
- 安定したキャッシュ創出力の上に、戦略的 M&A と設備投資をバランスさせ、企業価値の継続的向上を図る

成長と還元の好循環モデル：自社株買いによるM＆A戦略



Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

SNS公式・情報発信チャネル

X（旧Twitter）・YouTube・noteに加え、ログミーFinanceでの書き起こし掲載により
タイムリーで分かりやすい情報発信を強化

X（旧Twitter）



アカウントID：@SERENDIP_HD

note



YouTube



ログミーFinance

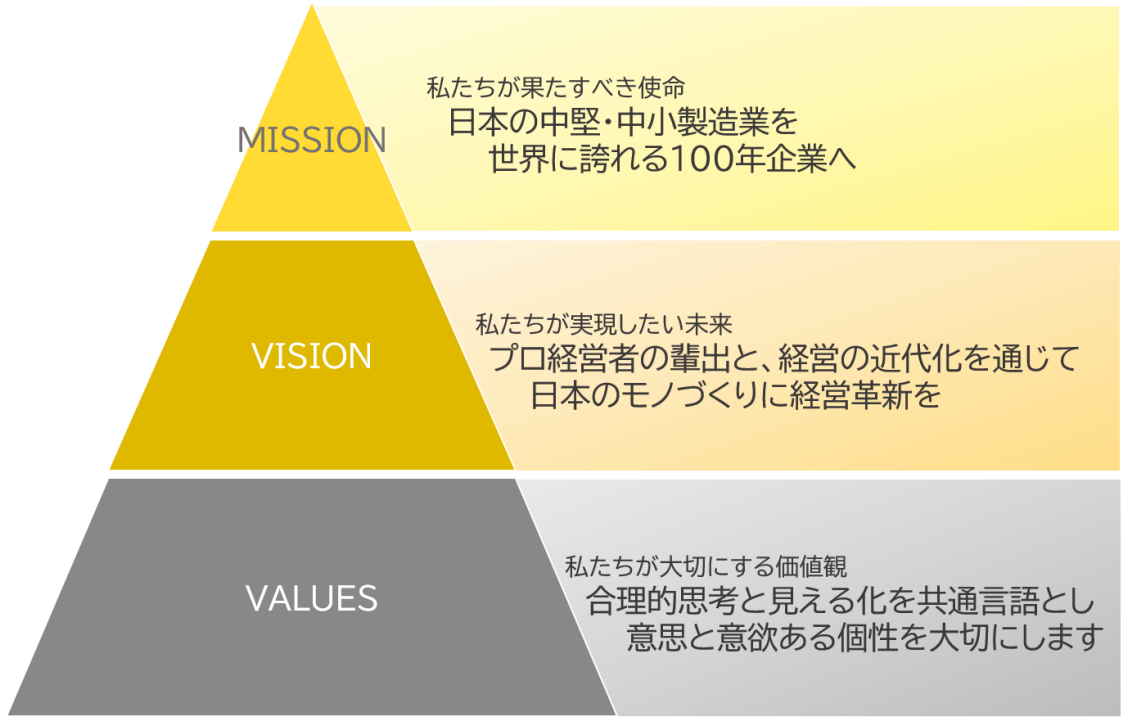


Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

会社概要

社　　名	セレンディップ・ホールディングス株式会社 SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd.
代　表　者	代表取締役社長兼CEO　竹内 在
本社所在地	愛知県名古屋市中区錦一丁目5番11号 名古屋伊藤忠ビル
設　　立	2006年8月
資　本　金	11億6461万円（2026年3月末現在）
株式公開市場	東京証券取引所　グロース市場 証券コード：7318
従業員数 （正社員・契約社員・パート）	単体　37名（2026年9月末現在） グループ全体　3,767名（2026年9月末現在）
決　算　月	3月

当社のミッション・ビジョン・バリュー



※従業員数（単体）の減少は、コンサルティング部門の人員をセレンディップ・ロボクロスおよびアクストリアへ移管したことによるものです。

Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

代表者の紹介



代表取締役社長兼CEO
竹内　在｜Ari　Takeuchi

幼少期より、曾祖父である竹内明太郎
（コマツ創業者）の影響を受け、経営者としての道を志す。

- 1994年　ニフティ株式会社
- 1999年　株式会社東海総合研究所
  （現　三菱UFJリサーチ＆コンサルティング株式会社）
- 2001年　SAPジャパン株式会社
- 2006年　日本オラクル株式会社
- 2011年　株式会社シンプレクス・コンサルティング
  （現　シンプレクス株式会社）
- 2014年　当社代表取締役社長
- 2023年　当社代表取締役社長兼CEO

当社のMission

事業承継型M＆Aにより
日本の中堅・中小製造業を世界に誇れる100年企業へ

Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

新セグメント別グループ一会社一覧

- 安定した基盤であるモノづくり事業が、持続的な成長と新たな価値創造を支える

SERENDIP HOLDINGS

高成長・高収益領域

ソリューション事業

試作・デザイン

Apex
Turning your ideas into reality.

■デザイン
開発段階の
試作・デザイン

Ladybird

■ビューティーテック
美容器開発・
製造・販売

製造業DX

天竜精機株式会社

ファクトリーオート
メーション装置製造

AXTRIA

労働者派遣・DX
コンサルティング・
受託開発

SERENDIP ROBO X

協働ロボット導入支援
・生産性向上支援

安定収益・基盤領域

モノづくり事業

自動車部品メーカー

UNICREA

■金属プレス加工
精密部品製造

SerenAC
MITSUIYA
Excell

■樹脂成型
内外装部品製造、ダクト等の
樹脂成型品の開発・製造

サーテックカリヤ

■めっき加工
表面処理

建設機械

NIKKEN

建設機械部品・
ライニング鋼管の製造・販売

新たな領域へ
進出

新領域への参入｜JMS初の投資案件　日建産業（建設機械領域）

- 自動車産業領域に隣接し、構造部材・加工技術に共通性を活かせる成長領域である建設機械セクターへ進出

NIKKEN



1. 建設機械という新たなセクターへ進出
2. 建機メーカーの強固なサプライチェーンへ参入
3. 関西での初拠点

自動車×建機メーカーの横展開

直接取引の実績・信頼を基盤にグループ横断での顧客・商流展開を加速

NIKKEN

【主要取引先】
コベルコ建機
日立建機ティエラ
積水化学工業
ヤンマー
小松製作所
住友建機
タダノ　等

相互紹介
クロスセルによる
取引拡大

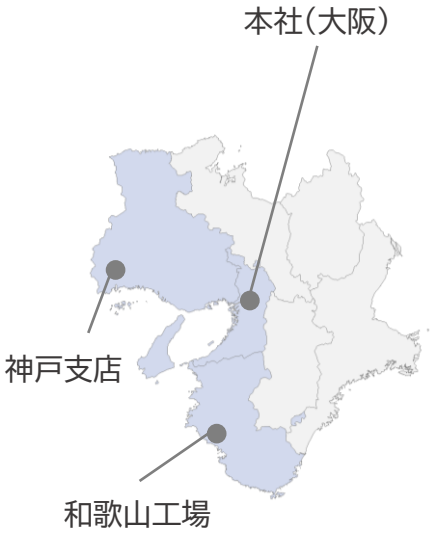
SERENDIP GROUP

当社の
顧客基盤

未開拓領域への展開

グループ初の関西拠点

セレンディップグループ全体で、西日本での新規顧客開拓の拠点として活用



西日本での新規顧客開拓

営業網・供給網の拡充
（営業力・供給力の拡大）

営業エリアの拡大

Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

Disclaimer

本資料に関する免責事項

本資料には、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものであり、一定の前提（仮定）の下になされています。これらの記述又は前提（仮定）が、客観的には不正確であったり、又は将来実現しないという可能性があります。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2026 All rights reserved.

Contact Us

https://www.serendip-c.com/

愛知県名古屋市中区錦 1-5-11
名古屋伊藤忠ビル



Copyright © SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd. 2024 All rights reserved.